

須木専壺

H28. 6. 13 (月)

梅雨入りはしたものの、雨の少ない日が続いていました。行事というものは、組織性があり、連帯感が必要です。行事は、生徒会という組織が中心となり、各部会が協力して行われます。行事は、生徒会という組織が中心となり、各部会が協力して行われます。行事は、生徒会という組織が中心となり、各部会が協力して行われます。

平成二十八年度
生徒会行事スローガン「誠心誠意」
文化祭スローガン「舞」

★生徒会全体討議「あいさつを徹底するために」
朝の会や集会で練習をしよう

今年は様々な場面が目にする事になります。子どもたちがどのように主体的に実行していくのが是非見守っていただけるとありがたいです。



各部長の説明



協議の様子

中体連に思いをこめ



部長の2人



生徒会長あいさつ

六月といえば、やはり中体連。保護者地域の皆様も当時何らかの部に所属されていたのならば、今年六十七回となる大会が六月十二日からスタートしています。昔は、弓道部、サカ部など様々な部があったとお聞きしました。生徒数の減少とともに、やむを得なく廃部になった競技もあつたそうです。今年、男子バレー部、剣道部、女子ソフトテニス部、陸上部が試合に出場します。前三つの部は大健闘の末、終わってしまいました。残すは十六日に行われます「陸上部」のみ。是非、自らの記録と闘いながら、挑戦してほしいです。



地域と生きる

五月、六月と地域での行事等に関係する機会が増えてきた。地域の区長様をはじめ、商工会の方々と、地域の関係者の方々と、対面する機会が増えた。区長の立場から、地域の現状や課題について、お話を伺った。区長の立場から、地域の現状や課題について、お話を伺った。区長の立場から、地域の現状や課題について、お話を伺った。

嬉しい出来事



なかな、野菜作りのはずなのに、一生懸命植えて、ある日、収穫ができた。中体連で、結果は負けただけで、最後まであきらめずに頑張っていた。朝からランニングで汗を流して、気持ちよく